

クロームブックを^{ただ}正しく^{つか}使うためのルール

つばめしりつつばめひがししょうがっこう
燕市立燕東小学校

れいわねん さくせい
令和4年4月作成

れいわねん かいてい
令和6年4月改訂

I 使う目的・使う場所

- ・学校で貸し出すパソコン（クロームブック）は、学習活動のために使うことが目的です。学習活動に関係のないことに使いません。（学校の学習活動と家庭学習のみ）また、人を傷つけるような使い方はしません。

II 使う時間

- ・授業、長善タイム、特別活動など、先生の指示があるときに使います。休み時間は、調べ学習の続きなど、先生の許可があるときに使えます。ただし、学習活動に関係のないことには使えません。 ※先生という言葉は、燕東小学校の先生を指します。

III クロームブックの管理

【使い方】

- ・使う前と使った後は手を洗い、手の汚れを落とします。
- ・他の人に自分のクロームブックを貸してはいけません。
- ・他の人に自分のパスワードを教えてはいけません。
- ・持ち歩く際は、落とさないように注意し、持ったまま走ったり、画面を操作しながら歩いたりしてはいけません。
- ・画面には、指でふれます。（タッチペンは先生の許可があった場合のみ使えます。）鉛筆やボールペンでふれたり、落書きしたり、磁石をつけたりするなどは絶対にしません。
- ・家庭で充電をしてきます。最低でも50%充電されているようにしましょう。

【設定の変更】

- ・デスクトップのアイコンの並び方や位置、背景の画像、色などのタブレットの設定は、勝手に変えてはいけません。
- ・画面の明るさを設定して、見やすくする設定は、各自で行ってもかまいません。

【故障やトラブル】

- ・クロームブックの調子が悪くなったり、壊れたりしたときは、先生に報告します。
- ・使い方が悪くて壊れたり、故障させたり、なくしたりした場合は、修理したり新しいものを買ったりする費用を払ってもらうことがあります。丁寧に使うようにしましょう。（タッチペンの故障・紛失等については（一時的に予備のものを貸し出します。）必要に応じて代替りのペンを家で用意してください。）

がくしゅう つか たいせつ じぶん なまえ がっこう じぶん
・学習に使う大切なパソコンです。自分の名前ががはってありますが、学校のもので、自分
そつぎょう あと しん1ねんせい つか たいせつ つか
が卒業した後には新1年生が使います。大切に使いましょう。

IV 自分とみんなを守るためのルール

【アカウント】

アカウントとは、学校のクロームブックで使う自分の名前のことです。個人情報ですから、次の注意を守りましょう。

- ・自分のアカウントは、学校のクロームブックで学習用に使います。個人で使うインターネットサイトやゲームアプリに登録するアカウントとして使ってはいけません。
- ・友達アカウントを使用することは、法律で禁止されています。絶対にしてはいけません。
- ・アカウントは、メールアドレスになっています。ただし、メールは使えないようになっています。今後、使える設定になっても、学習時間以外で友達同士のメールやメッセージのやり取りには使いません。
- ・自分のアカウントは、燕市の中学校を卒業するときまで使用できます。アカウントは中学校卒業から1ヶ月後に使えなくなります。

【パスワード】

パスワードとは、アカウントが正しいかどうかを見分けるための「カギ」です。人に知られると、悪用される恐れがありますので、次の注意を守りましょう。

- ・パスワードは、他の人に絶対に教えてはいけません。パスワードが他の人に知られた場合は、パスワードを変えることになります。

【ログイン】

ログインとは、クロームブックの電源を入れて、自分のアカウントとパスワードを入れる作業のことです。ログインすることで、自分のデータを使うことができます。

- ・ログインは、学校のクロームブックのみで行います。
- ・ログインするときにパスワードを忘れてしまったら、担任の先生に聞きます。
- ・何回やってもログインできない場合は、先生に言いましょう。パスワードの変更が必要な場合は、すぐに直りません。
- ・ほかのパソコンやタブレットなどでもログインできますが、学校からの許可がない限り、自宅のパソコンやタブレットでログインをしません。

【クラスルーム】

クラスルームとは、学習や連絡に使うページのことです。先生が課題を出す場所です。一人で考えたり、みんなでいろいろなアプリを使って、考えを出し合ったりすることができます。小テストやアンケートを行うこともあります。楽しく使いましょう。

- ・先生や友達とのメッセージのやりとりができます。また、アプリの共有機能を使って、一斉に書きこむことができます。学習を深めたり、学校生活を便利にしたりできます。
- ・だれが書きこんだかは必ず分かるようになっています。相手を傷つけたり、相手にいやな思いをさせたりしないよう、書きこむときの言葉づかいには十分気をつけましょう。

【アプリの使用】

クロームブックには、学習を便利にするアプリが入っています。この後も、少しずつ増えていきます。使い方を覚えて、自分の学習に生かしていきましょう。

※アプリ…アプリケーションソフトウェアの略で、目的をもって使う専用プログラムのこと。

- ・先生の指示にしたがってアプリを使います。関係のないアプリは使いません。

<ウェブサイト>

- ・ほしい情報にすぐにたどりつけるように、検索の仕方を工夫しましょう。
 - ・学習に関係のないウェブサイトにはアクセスしません。
- ※どんなウェブサイトを見たのかは、記録に残ります。シークレットモードは使えません。
- ・見ることのできるサイトはある程度制限されています。
 - ・おかしな画像や文字などが表示されるなど、あやしいサイトに入った場合には、すぐにそのページをとじ、先生に知らせます。
 - ・自分や他人の個人情報(名前や住所、電話番号など)は、絶対にインターネット上に公表してはいけません。

<カメラ>

- ・先生の許可があるとき以外は、写真や動画をとってはいけません。
- ・写真や動画を撮影するときは、撮影する相手の許可を得ます。
- ・撮影した写真や動画は、許可なく他の人に送ったり、公開したりしてはいけません。

<データの保存>

- ・学校のタブレットで作ったデータやインターネットから取りこんだデータ(写真や動画など)は、学習活動で許可されたものだけ、自分の「ドライブ」に保存します。
- ・写真や動画は、クロームブックに保存されますが、たくさん保存できないので、先生の指示にしたがい、「ドライブ」にアップロードします。アップロードした写真や動画は、クロームブックから削除します。

<アプリのインストール・削除>

- ・許可されたアプリ以外は、インストールできません。アプリの削除はしません。

【著作物と著作権】

「考えや気持ちを言葉、写真、絵画、音楽、プログラムなどで表現したもの」を著作物といい、それを作った人の権利を著作権といいます。自分の作品を作るときは、他人の著作物を勝手に使わない(著作権を守る)ことが大切です。

- ・インターネット上では、いろいろな著作物が公開されています。自分の文章や作品などに使う場合は、「いつ」「どこで」「だれが」発表したものなのかを必ず付けて作ります。これを『引用』といいます。引用する場合は、そこに必ず自分の考えを付けましょう。
- ・インターネット上の自由に使ってよいイラスト、写真、音楽を利用しましょう。
- ・使ってよいか分からない、どう引用すればよいか分からない場合は、先生に聞きましょう。

ルールを守って正しく使いましょう。ここに書いてあるルールが守れないときは、クロームブックの使用を禁止、または、制限することがあります。

IV 持ち帰りのルール

学校の学習と家庭の学習をつなげるためにクロームブックを家庭に持ち帰ります。臨時休業等の際には学校からの連絡ツールとして活用します。家庭で使うときもルールや家の人との約束を守って使いましょう。ルールを守っていないと分かった場合は、家の人と相談して、アカウントを停止したり、持ち帰りを中止したりすることもあります。

【基本的な使い方】

- ・学校で使うときと同じです。学習以外には使用しません。

【家でのクロームブックの管理】

- ・持ち帰るとき、持ってくるときは、クロームブックをランドセルに入れます。
- ・こわれたり、なくしたりしないように家の人と相談して置く場所を決めます。
- ・水にぬれるところ、湿気の多いところ、日光の下、ストーブの近くなどには置きません。
- ・クロームブックのそばで食べたり飲んだりしません。
- ・家の外に持ち出しません。

【使う時間】

- ・家庭で使うことができる時間は、6時～21時までです。また、21時～6時まではインターネットにフィルタがかかるため使用できません。
- ・自主的な学習に使う場合の1日の最大使用時間は2時間以内とします。
- ・30分に一度は目を休めます。
- ・目とクロームブックの距離を30cm以上離して使います。

【インターネットの使い方】

- ・クロームブックでどのホームページを見たか(アクセス履歴)は、自分のクロームブック上で消しても、先生が分かる設定になっています。
- ・ウェブサイトなどを見るときはおうちの人がいる場所で行いましょう。
- ・動画を見る場合は、先生が許可したものだけ見てください。
- ・SNS、掲示板へのアクセスをしません。
- ・不適切なサイトを見たり、コメントを書いたりしません。
- ・学校から配付されたアカウントで、会員登録を行いません。また、自分の持っている個人のアカウントを使ってはいけません。